

平成28年度 当初予算 (案)

主な事業の説明書

総務部
選挙管理委員会

.....目

次.....

款	項	目	大事業	ページ
2	1	2	17 公文書館整備事業費	1 - 1
2	1	4	16 仙北庁舎附帯施設整備事業費	1 - 2
2	1	6	11 固定資産台帳等整備事業費	1 - 3
2	1	10	23 雪対策推進事業費	1 - 4
2	4	31	10 参議院議員通常選挙執行経費	1 - 5
2	4	41	10 秋田県知事選挙執行経費	1 - 6
2	4	51	10 大仙市長選挙執行経費	1 - 7
9	1	3	11 消防施設・設備整備費	1 - 8
9	1	5	23 防災ラジオ関連事業費	1 - 9

事 業 説 明 書

2 款 1 項 2 目 17 事業

(施策の大綱)芸術、文化の振興

(施策)文化財の保護保全・整備と活用

(基本事業)文化財の普及啓発と史料の整備

拡充

課所名：総務部 総務課

『事業名』 **公文書館整備事業費**

【28年度】 371,456 千円 【27年度】 6,466 千円 【増減額】 364,990 千円

※28年度事業費の財源内訳

国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
178,303		135,500		57,653

1. **P l a n** (計画：事業の目的及び目標)

旧市町村文書については、合併後、各支所において分散管理せざるを得ない状況にあるが、今後、職員数の減少や施設の統廃合などによる文書散逸の危険が懸念されるほか、今後の利用公開に当たっても、文書が点在していることによる不都合が生じると考えられる。また、古文書をはじめとした歴史資料についても分散管理の問題は同様であり、適切な保存環境のもと、研究者や地域住民の利用に供することが求められる。そのため、保存、公開、利用を一箇所で行えるようにするため、学校統合により廃校となった旧双葉小学校(強首字上野台1)の校舎及び屋内運動場を改修し、公文書館を設置する。

○目標：旧双葉小学校の校舎及び屋内運動場を改修し、平成29年5月に公文書館として開館する。

2. **D o** (実行：これまでの実績と成果)

○平成26年度に基本設計、平成27年度に実施設計の業務委託をそれぞれ行い、平成28年度に改修工事を予定している。

(設計業務委託業者：榊小畑設計事務所 基本設計契約額：1,890,000円
 実施設計契約額：6,211,080円)

3. **C h e c k** (評価：問題と課題)

○基本設計後に、以下のような問題が判明した。
 ・外壁の劣化が進んでいることから、塗装による補修が必要になった。
 ・機械設備(ボイラー、エアコン)や給水管が予想以上に劣化しており、交換・補修が必要になった。

4. **A c t** (改善：今後の方向性と28年度事業の概要)

○事業内容

- ・ 構造、規模 旧校舎棟：木造一部鉄筋コンクリート造2階建 3,228.42㎡
 旧屋内運動場棟：鉄筋コンクリート造一部木造2階建 1,235.76㎡
 延べ床面積計 4,464.18㎡
- ・ 施設諸元 収蔵約27万冊(A4判厚さ25mmのファイルで換算)
- ・ 機能配置 旧校舎棟：閲覧室、展示室、多目的室、貴重書庫、作業室、事務室
 旧屋内運動場等：書庫(図面保管庫含む)
- ・ 改修内容 書庫等設置、防火改修、防虫改修、空調改修、構造改修、給排水衛生設備改修
 電気設備改修、機械設備改修

○事業費

	(千円)		【財源内訳】	(千円)
・ 建築工事	268,719	↑	社会資本整備総合交付金(1/2)	178,303
・ 電気設備工事	23,333		起債	135,500
・ 機械設備工事	54,830		一般財源	42,804
・ 設計監理業務委託	1,415		計	356,607
・ 工事監理業務委託	8,310			
小計	356,607			
・ 備品	14,849		(一般財源)	
事業費合計	371,456			

事 業 説 明 書

2 款 1 項 4 目 16 事業

(施策の大綱) 行財産運営の効率化

(施策) 公共施設の適切な管理

(基本事業) 庁舎等の維持管理

継続

課所名：総務部 管財課

『事業名』 **仙北庁舎附帯施設整備事業費**

【28年度】 155,787 千円 【27年度】 8,337 千円 【増減額】 147,450 千円

※28年度事業費の財源内訳

国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
	14,522	133,900		7,365

1. Plan (計画：事業の目的及び目標)

仙北就業改善センター解体後の跡地に、市の会議等で使用する庁舎附帯施設としての機能、災害時の避難所としての機能、また地域住民が利用できる施設としての機能を併せもつ多目的施設を建設する。

○目標：平成29年3月までに完成し、同年4月に開館する。

2. Do (実行：これまでの実績と成果)

基本設計及び実施設計の業務委託をH27年度に行い、H28年度の建設を予定している。

(契約業者：(株)エムシーエー建築設計、基本設計契約額：¥2,862,000—

実施設計契約額：¥5,475,600—)

平成28年度秋田の木・利用推進木造公共施設等整備事業費補助金を活用し、財源確保を図るため農林振興課を通して秋田県と協議している。

3. Check (評価：問題と課題)

H27年度内に基本設計及び実施設計の業務委託を行い、H28年度の建設を予定している。秋田の木・利用推進木造公共施設等整備事業費補助金を活用し、財源確保に努める。

4. Act (改善：今後の方向性と28年度事業の概要)

■仙北庁舎附帯施設整備事業新築工事

・業務期間：平成28年6月～平成29年3月 (予定)

・予算内訳

予算項目	費用	要求額 (千円)	内 訳 (円)		
			建設工事 (補助対象経費)	電気設備工事	機械設備工事
工事請負費	工事費	151,642	94,380,682	28,520,424	28,740,744
委託料	設計監理費	967	601,604	181,796	183,200
	工事監理費	2,946	1,833,716	554,122	558,402
小 計		155,555	96,816,002	29,256,342	29,482,346
手数料等	手数料	75	完了通知手数料、消防検査		
備品購入費	備品購入費	157	椅子用台車、消火器		
総 計		155,787			

■施設の概要 (平成28年度新築予定)

・構造、規模等：木造平屋建て、延べ床面積477.69㎡

・概算総工事費：155,554,690円 (税込、設計監理・工事監理を含む)

・予定補助事業：木造公共施設等整備事業費補助金 (補助率15%)

概算補助対象額 96,816,002円×15%＝14,522,400円 (概算補助金額＝歳入)

(※電気設備・機械設備工事費を除く建設工事費部分)

・施設整備概要：大研修室 108.0㎡、中研修室 63.0㎡、小研修室 28.0㎡
 湯沸室 18.0㎡、トイレ 33.0㎡、
 備品庫(1) 59.4㎡、備品庫(2) 14.0㎡、
 備品庫(3) 18.0㎡、その他(設備機器置き場・自転車置き場) 45.5㎡、
 ホール・廊下 62.6㎡、玄関・風除室 15.5㎡、渡り廊下 12.69㎡

事 業 説 明 書

2 款 1 項 6 目 11 事業

(施策の大綱) 行財政運営の効率化

(施策)

(基本事業)

新規

課所名： 総務部 財政課

『事業名』 **固定資産台帳等整備事業費**

【28年度】 50,564 千円 【27年度】 0 千円 【増減額】 50,564 千円

※28年度事業費の財源内訳

国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
				50,564

1. Plan (計画：事業の目的及び目標)

国が示した統一的な基準による財務書類の作成・公表、公共施設等総合管理計画の充実・精緻化及び公共施設のマネジメント等に活用するため、市が所有する全ての固定資産（庁舎、学校、公民館、道路、公園等）について、取得価額、耐用年数等のデータを記載し、固定資産の情報を網羅的に把握することが可能となる固定資産台帳等を整備する。

- 目標：固定資産台帳の整備 平成28年度末
- 統一的な基準による財務書類の作成 平成29年度末（平成28年度決算）
- 公共施設等総合管理計画の策定 平成28年度末

2. Do (実行：これまでの実績と成果)

これまでは地方自治法に規定する公有財産を管理するための公有財産台帳のほか、各所管において個別法に基づき施設等の台帳を整備し、管理・運用にあたってきた。

平成27年1月23日付けの総務大臣通知「統一的な基準による地方公会計の整備促進について」により、公共施設の老朽化対策に活用可能となる固定資産台帳が未整備の地方公共団体に対し、早期に整備するよう通達があった。

3. Check (評価：問題と課題)

公有財産台帳など各種台帳は、財産の管理が主たる目的であるため、財務書類を作成するうえで必要な資産の簿価や減価償却累計額等が把握されていない。

公有財産台帳や個別法に基づく各種台帳と固定資産台帳の相互の整合性保持、効率的な管理が今後の課題として考えられる。

4. Act (改善：今後の方向性と28年度事業の概要)

既存の公有財産台帳など各種台帳を最大限活用し、取得・異動情報の確認及び現地・現物調査等により、固定資産台帳の整備を図る。

なお、固定資産台帳整備に必要となる資産の評価、データの登録及び地方公会計システムの整備経費については、地方交付税措置されることになっている。

(1) 固定資産台帳整備【41,764千円】

取得価額や評価額を網羅する固定資産台帳を整備・活用することで、公共施設等の将来の更新時期や必要額のシミュレーションが可能となり、適切な施設の更新・長寿命化を実施する有効な指標となるものである。

- ①記載対象：土地、建物（本体）、附属設備、工作物（門、柵、塀等）、備品、美術品など
- ②記載項目：財務書類の作成等に必要となる基本50項目
 公共施設のマネジメントや資産の管理に必要となる追加項目（項目数等任意）
- ③資産単位：棟、個、台、筆、mなど
- ④資産の評価：資産区分に応じ、資産の公正価値評価を行う評価基準を設ける

(2) 財務書類作成準備【4,307千円】

会計制度に経済取引の記帳を借方と貸方に分けて行う「複式簿記」を取り入れることにより、資産形成に関する情報の把握、減価償却費、退職手当引当金等の行政コスト情報の認識など、より効果的な財務状況の把握を可能とするため、固定資産台帳等を活用した統一的な基準による財務書類の作成準備を進める。

(3) 公共施設マネジメント（分析活用）システム導入【4,493千円】

公共施設マネジメントシステムを導入し、財務書類等をさらに分析することで①公共施設の財政運営の課題を洗い出し、②将来への投資を考察する指標の設定につながり、③指標があることで職員全体での共有が図られ、④適切な資産管理及び事業の精査につなげることができる。

事 業 説 明 書

2 款 1 項 10 目 23 事業

(施策の大綱) 雪対策の強化

(施策) 安心除排雪体制の整備

(基本事業)

拡充

課所名：総務部 雪対策推進室

『事業名』 雪対策推進事業費

【28年度】 5,064 千円 【27年度】 380 千円 【増減額】 4,684 千円

※28年度事業費の財源内訳

国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
				5,064

1. Plan (計画：事業の目的及び目標)

大仙市雪対策総合計画における「雪に負けない市民協働のまち・大仙」を基本理念とし、住民参画と協働により、安心して住み続けることのできるまちづくりの推進を目的とする。

平成28年度は、雪シンポジウムや除雪等合同出動式の開催及び雪対策基本条例の制定のための作業を行い、雪対策に協働で取り組んでいこうとする市民意識の醸成を図るとともに、引き続き既存の雪対策事業の整備拡充や新たな雪対策事業の検討をしていく。

2. Do (実行：これまでの実績と成果)

- ・市職員が一丸となって部局横断的に雪対策に取り組む体制を構築するため、平成27年度に雪対策に特化した部署「雪対策推進室」を設置。

- ・平成27年度は前年度までの雪対策事業の課題を検証し、雪下ろし業者のマッチング制度などの新規事業の開始や、除雪等合同出動式などの既存事業の整備拡充を行った。

3. Check (評価：問題と課題)

- ・雪対策総合計画の推進には、市民・事業所・行政が雪対策に協働で取り組んでいこうとする市民意識の醸成を目的とする取り組みが必要である。

- ・平成27年度から開始した雪対策事業については、サービスの利用者・担い手から意見を聞き、検証作業を実施し、問題点の抽出を行う。

4. Act (改善：今後の方向性と28年度事業の概要)

- (新規) 雪シンポジウムの開催 497千円
講演者・パネリスト謝金、プログラム、郵便料等開催経費
- (新規) 雪対策基本条例制定事業 107千円
条例制定に向けた関係行政機関懇談会・雪対策総合計画推進委員会開催経費
- (新規) 雪対策事業の検証 207千円
平成27年度から開始した雪対策事業の検証作業を行い、事業改善に役立てていく
 - ・高齢者等雪対策総合支援事業の利用者、雪下ろし登録事業者へのアンケートの実施
 - ・地域提案型自治会等雪対策モデル事業の実施団体を対象とした検討会の開催
- 除雪等合同出動式の開催 61千円
感謝状贈呈のための経費、郵便料等開催経費
- 除雪体制支援情報サービス委託経費 3,456千円
冬期の気象予報等の情報サービスを道路除雪車の出動や凍結防止剤散布作業の実施の判断に活用する
- 事務費 (雪対策推進室の活動に関する経費) 736千円
雪対策事業パンフレット作成経費、コピー機・情報端末機器賃借料等

事 業 説 明 書

2 款 4 項 31 目 10 事業

(施策の大綱)

(施策)

(基本事業)

新規

課所名：選挙管理委員会事務局

『事業名』 参議院議員通常選挙執行経費

【28年度】 58,938 千円 【27年度】 0 千円 【増減額】 58,938 千円

※28年度事業費の財源内訳

国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
58,938				

1. Plan (計画：事業の目的及び目標)

平成28年7月25日の任期満了に伴う参議院議員通常選挙の管理執行を行うことを目的に、参議院選挙区選出議員選挙及び比例代表選出議員選挙における立候補者について、大仙市開票区における得票数を確定させる。また、選挙権年齢の引き下げと期日前投票所の増設により、前回と同等以上の投票率を目標とする。

●目標：投票率 56%～57%以上

2. Do (実行：これまでの実績と成果)

【投票者数・投票率の推移】

	H19.7執行	H22.7執行	H25.7執行
当日有権者数(人)	78,680	77,067	74,812
投票者数(人)	55,581	51,480	42,238
投票率(%)	70.64	66.80	56.46

3. Check (評価：問題と課題)

当該選挙から選挙権年齢が18歳以上に引き下げられることと、加えて若年層の投票率の低下が顕著であることから、集客力の高い大型ショッピングセンター内や、地域に密着した地元スーパー内に期日前投票所を開設し、併せてFMはなび等を活用した積極的な選挙啓発を行い、市全体の投票率の向上を図っていく。

4. Act (改善：今後の方向性と28年度事業の概要)

◎これまでに執行してきた選挙から得られた問題点等を検証し、執行の正確性と迅速性を高めてきた。今後の選挙についてもこれまでの経験と実績を踏まえ、より正確で迅速な執行を目指す。

- ◇公 示 日：平成28年6月中旬予定
- ◇期日前投票：平成28年6月中旬～7月初旬予定 16日間
- ◇投 票 日：平成28年7月中旬予定 午前7時～午後7時 市内67ヶ所予定
- ◇開 票：投票日同日予定 午後8時30分～ 大曲体育館予定

※平成27年12月2日定時登録者数
 男：33,738人 女：39,291人 計：73,029人

項 目	予算額 (千円)	主な用途内容
投票所経費	14,512	当日投票管理者及び立会人報酬、事務従事者時間外手当、人夫賃金、投票所借上料、投票箱送致タクシー代等
期日前投票所経費	19,699	期日前投票管理者及び立会人報酬、期日前事務従事者時間外手当、臨時職員賃金等、新規期日前投票所開設経費等
開票所経費	4,814	開票管理者及び立会人報酬、開票事務従事者時間外手当、投票用紙読取機候補者ファイル作成、開票会場舗設撤去等業務委託等
選挙公報発行経費	724	選挙公報の新聞折込手数料
候補者氏名掲示経費	254	記載台用氏名掲示印刷代
ポスター掲示場費	8,244	ポスター掲示板設置・撤去・維持管理費用等
演説会施設公営費	50	演説会会場借上料
事務費	10,641	選挙啓発用看板及び選挙関連事務消耗品等、入場券郵便料等
合 計	58,938	

事 業 説 明 書

2 款 4 項 41 目 10 事業

(施策の大綱)

(施策)

(基本事業)

新規

課所名：選挙管理委員会事務局

『事業名』 秋田県知事選挙執行経費

【28年度】 23,141 千円 【27年度】 0 千円 【増減額】 23,141 千円

※28年度事業費の財源内訳

国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
	23,141			

1. Plan (計画：事業の目的及び目標)

平成29年4月19日の任期満了に伴う秋田県知事選挙の管理執行を行うことを目的に、秋田県知事選挙における立候補者について、大仙市開票区における得票数を確定させるための準備経費。

2. Do (実行：これまでの実績と成果)

【投票者数・投票率の推移】

	H17.4執行	H21.4執行	H25.4執行
当日有権者数(人)	79,041	77,118	無投票
投票者数(人)	61,907	49,090	
投票率(%)	78.32	63.66	

3. Check (評価：問題と課題)

・参議院議員選挙時から、大型ショッピングセンター内や地元スーパー内に期日前投票所を開設することになるが、参院選執行後の全体的な結果を踏まえ、見直し等が生じた場合は解消に向けた取組を行い、市全体の投票率の向上を図っていく。

4. Act (改善：今後の方向性と28年度事業の概要)

◎これまでに執行してきた選挙から得られた問題点等を検証し、執行の正確性と迅速性を高めてきた。今後の選挙についてもこれまでの経験と実績を踏まえ、より正確で迅速な執行を目指す。

- ◇告示日：平成29年3月下旬予定
- ◇期日前投票：平成29年3月下旬～4月中旬予定 16日間
- ◇投票日：平成29年4月中旬予定 午前7時～午後7時 市内67ヶ所予定
- ◇開票：投票日同日予定 午後8時30分～ 大曲体育館予定

※平成27年12月2日定時登録者数
 男：33,738人 女：39,291人 計：73,029人

項目	予算額(千円)	主な使途内容
期日前投票所経費	8,934	期日前投票管理者及び立会人報酬、期日前事務従事者時間外手当、臨時職員賃金等、新設期日前投票所開設経費等
選挙公報発行経費	346	選挙公報の新聞折込手数料
候補者氏名掲示経費	31	記載台用氏名掲示印刷代
ポスター掲示場費	6,273	ポスター掲示板購入・設置・維持管理費用等
演説会施設公営費	15	演説会会場借上料
事務費	7,542	選挙啓発用看板及び選挙関連事務消耗品等、入場券郵便料等
合計	23,141	

事 業 説 明 書

2 款 4 項 51 目 10 事業

(施策の大綱)

(施策)

(基本事業)

新規

課所名：選挙管理委員会事務局

『事業名』 大仙市長選挙執行経費

【28年度】 9,541 千円 【27年度】 0 千円 【増減額】 9,541 千円

※28年度事業費の財源内訳

国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
				9,541

1. Plan (計画：事業の目的及び目標)

平成29年4月16日の任期満了に伴う大仙市長選挙の管理執行を行うことを目的に、大仙市長選挙における立候補者について得票数を確定させ、当選人を決定するための準備経費。

2. Do (実行：これまでの実績と成果)

【投票者数・投票率の推移】

	H17.4執行	H21.4執行	H25.4執行
当日有権者数(人)	79,013		
投票者数(人)	61,768	無投票	無投票
投票率(%)	78.17		

3. Check (評価：問題と課題)

- ・参議院議員選挙時から、大型ショッピングセンター内や地元スーパー内に期日前投票所を開設することになるが、参院選執行後の全体的な結果を踏まえ、見直し等が生じた場合は解消に向けた取組を行い、市全体の投票率の向上を図っていく。
- ・告示日以降に実施される期日前投票・不在者投票事務について、より一層正確かつ迅速な執行が出来よう配備する。

4. Act (改善：今後の方向性と28年度事業の概要)

◎これまでに執行してきた選挙から得られた問題点等を検証し、執行の正確性と迅速性を高めてきた。今後の選挙についてもこれまでの経験と実績を踏まえ、より正確で迅速な執行を目指す。

- ◇告示日：平成29年4月上旬予定
- ◇期日前投票：平成29年4月上旬～4月中旬予定 6日間
- ◇投票日：平成29年4月中旬予定 午前7時～午後7時 市内67ヶ所予定
- ◇開票：投票日同日予定 午後8時30分～ 大曲体育館予定

※平成27年12月2日定時登録者数
 男：33,738人 女：39,291人 計：73,029人

項目	予算額(千円)	主な使途内容
ポスター掲示場費	6,273	ポスター掲示板購入・設置・維持管理費用等
事務費	3,268	選挙啓発用看板及び選挙関連事務消耗品、投票用紙印刷等
合計	9,541	

事 業 説 明 書

9 款 1 項 3 目 11 事業

(施策の大綱) 生活の安全、安心確保

(施策) 消防、防災の充実

(基本事業) 消防力の充実、強化

拡充

課所名: 総務部 総合防災課

『事業名』 **消防施設・設備整備費**

【28年度】 51,771 千円 【27年度】 22,326 千円 【増減額】 29,445 千円

※28年度事業費の財源内訳

国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
		47,600		4,171

1. Plan (計画: 事業の目的及び目標)

大仙市民の生命・財産を火災や災害から守り「災害に強いまちづくり」を目指すことを目的に、消防団が万全の体制で対応できるよう消防施設・資機材を更新・整備していく。また、大仙市消防団の再編を実施し、消防団の管轄範囲や班編制、資機材の配備を見直し、災害にしっかりと対応できる体制を整備する。

●目標: 積載車配備台数 73台→83台 (H29年度) ※1台を廃棄するため11台の新規導入

2. Do (実行: これまでの実績と成果)

・年次計画により施設・資機材を更新し災害に備えている。

○施設・資機材の現有数と過去5年間の整備数

	積載車	小型ポンプ	詰所・格納庫
施設・資機材数	73台	191台	179棟
過去5年間の整備数	7台	13台	9棟

3. Check (評価: 問題と課題)

・消防施設・資機材は、定期点検を実施し災害に備えているものの、劣化が著しい資機材も多数ある。現在のペースでは更新が長期間に及ぶこととなり、ほとんどが適正な更新時期を超過することとなる。
 ・消防団再編により火災や災害にしっかりと対応できる体制を築くため、班の統合と施設・資機材の整理を行い、積載車を効率的に配備することが必要である。

4. Act (改善: 今後の方向性と28年度事業の概要)

【消防団再編による事業】・・・29,918千円

●積載車より小型動力ポンプが多い現在の配備状況から、積載車中心の機動力ある体制を構築する。再編による班統合や管轄区域の見直しで、積載車が必要となる班にH28年度は新規に5台配備する。

事業種別	事業費 (千円)	実施地域
積載車+小型ポンプ 5台 (諸経費込)	29,918	大曲3、中仙2

○再編による施設・資機材数の増減

区分	現況	再編後	増減
積載車+小型ポンプ (台)	73	83	10
小型ポンプ (台)	118	36	-82
その他車両 (台)	3	3	0
詰所 (棟)	25	24	-1
格納庫 (棟)	154	89	-65

○今後10年間の積載車更新計画

	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	合計
更新 (台)	3	2	5	4	4	4	4	4	4	4	38
新規配備 (台)	5	6									11
合計 (台)	8	8	5	4	4	4	4	4	4	4	49

【年次計画による事業】・・・21,853千円

事業種別	事業費 (千円)	実施地域
積載車+小型ポンプ更新 3台 (諸経費込)	17,969	神岡、西仙北、太田
老朽鐘楼解体	600	大曲2
ホース乾燥塔移設	718	南外3→中仙3
ホース乾燥塔新設	324	仙北
サイレン・ホース乾燥塔建替	1,075	協和
防火水槽解体	1,167	神岡

事 業 説 明 書

9 款 1 項 5 目 23 事業

(施策の大綱) 生活の安全、安心確保

(施策) 消防、防災の充実

(基本事業) 防災体制の充実、強化

新規

課所名：総務部 総合防災課

『事業名』 **防災ラジオ関連事業費**

【28年度】 132,166 千円 【27年度】 0 千円 【増減額】 132,166 千円

※28年度事業費の財源内訳

国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
		111,700	1,938	18,528

防災ラジオ販売収入

1. Plan (計画：事業の目的及び目標)

迅速な緊急情報の周知及び情報伝達体制の多重化を目的に、全国瞬時警報システム (J-ALERT) から配信される地震・気象警報等の緊急情報等を、FMはなびから起動信号とともに発信することにより、電源がOFFの状態でも自動で起動し、他局の放送を聞いていても割り込んで放送を受信するラジオの普及を図り、また、避難に時間がかかる避難行動要支援者等が、いち早く安全に避難できる体制を構築する。

2. Do (実行：これまでの実績と成果)

3. Check (評価：問題と課題)

近年の災害は、ゲリラ豪雨など局所的で予測が困難なものや、今まで経験したことのない様な大規模なものが増加している。この様な災害に対応するため、迅速で確実な防災情報の伝達が不可欠となっている。そこで、市ではこれまで防災ネットだいせんや緊急速報メール (エリアメール等) の導入を行ってきたが、それらのシステムがダウンした場合などに対応するため情報伝達体制の多重化が課題となっていた。また、災害の際、高齢者や障害を持つ方などの避難行動要支援者が被害を受けやすい事が問題となっている。

4. Act (改善：今後の方向性と28年度事業の概要)

FMはなびから緊急情報等と共に起動信号を発信することにより、電源がOFFの状態でも自動で起動し、他局の放送を聞いていても割り込んで放送を受信する防災ラジオを避難行動要支援者世帯等8,655箇所へ無償貸与するとともに、補助金を交付しながら一般販売する事により普及を図る。また、FMはなびを利用して、防災ラジオの起動試験を定期的実施し防災ラジオの有効性を認識してもらい、防災ラジオの活用を図っていく。

防災ラジオの購入・貸与

防災ラジオ@11,963円×1.08×10,000台= 129,201千円
 貸与通知@82円×10,000通= 820千円
 貸与通知封筒、パンフ印刷 217千円

一般販売分補助金 @14,000円×1/2×150台= 1,050千円

起動試験放送等委託料60,000円×12ヶ月×1.08= 778千円

その他 100千円

○無償貸与対象	
・避難行動要支援者世帯	(高齢者、障害者等のうち、災害発生時の避難等に特に支援を要する方がいる世帯)
・要配慮者利用施設	(小中学校、高校、幼稚園、保育所、老人福祉施設、グループホーム、病院、診療所等)
・生活保護世帯	
○スケジュール	
5月	防災ラジオ購入仮契約
6月	契約の議決
6月下旬	防災ラジオ購入本契約
7月下旬～	防災ラジオ納入開始
8月上旬～	防災ラジオ貸与・販売開始
～3月	防災ラジオ納入、貸与

※参考：ラジオ販売については、TMO大曲で市から税込み12,920円で仕入れ、14,000円で販売予定
 歳入：@12,920×150台=1,938千円